

ポイント

○持続的農業の実現には健全な農業用施設の維持管理が必要となる。また、農業基盤の整備により農業生産効率の向上、農業競争力の強化が図られる。

事業概要

・事業目的 排水が無尽蔵に流下している鳥海南麓山楯団地の排水対策を実施する。また、通行に支障がある農道の改修を行うことにより、農業用施設の健全な維持管理を図る。

・事業内容

1. 鳥海南麓山楯団地の水路整備

箇所③の工事

2. 過疎基幹農道二タ子の農道改修

箇所②の工事

・負担割合 国：55%、県：4%、市：41%

鳥海南麓山楯団地 水路整備



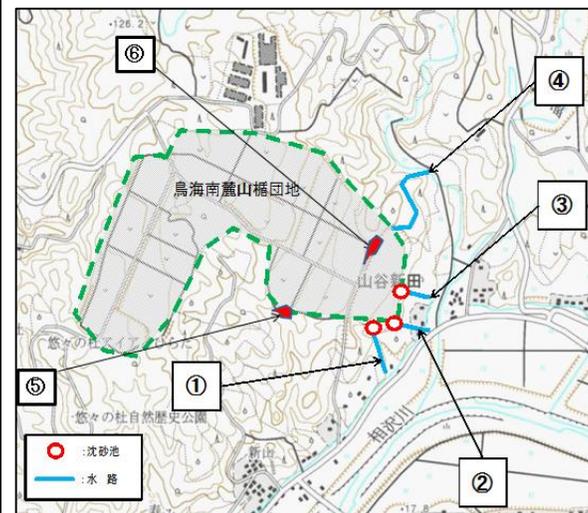
過疎基幹農道二タ子 農道改修



事業効果

- ◆沈砂池からの排水を受ける水路を整備することにより、施設の健全な維持管理を図る。
- ◆通行に支障がある農道改修により、農業者が安全に通行でき、農業生産効率の向上と農業競争力の強化が図られる。

鳥海南麓山楯団地



過疎基幹農道二タ子



【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
田園整備係 TEL26-5754

ポイント

○農業・農村の有する多面的機能を適切に維持・発揮させ、担い手農家への農地集積を図る。

事業概要

・事業目的 水路、農道及びため池等の地域資源の保安全管理を行うための共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図る。

・事業内容

(1) 農地維持支払交付金

- ①地域資源の基礎的な保全活動
(水路の草刈り・泥上げ、農道の路面維持など)
- ②地域資源の適切な保安全管理のための推進活動
(体制の拡充・強化、保安全管理構想の作成など)



農地法面の草刈り

(2) 資源向上支払交付金

- ①地域資源の質的向上を図る共同活動
 - ・施設の軽微な補修
(水路、農道、ため池の軽微な補修など)
 - ・農村環境保全活動
(生態系保全活動、景観形成のための植栽活動、田んぼダムの取組など)
 - ・多面的機能の増進を図る活動
(防災・減災力の強化、遊休農地の有効活用など)
- ②施設の長寿命化のための活動
(老朽化が進む水路等の補修・更新など)



植栽活動



素掘り水路からコンクリート水路への更新

・負担割合 国：1/2 県：1/4 市：1/4

事業効果

- ◆農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮が図られる
- ◆担い手農家への農地集積が図られ、規模拡大を後押しすることで、本市農業産出額の増加が図られる。

多面的機能イメージ図



【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
田園整備係 TEL26-5754

ポイント

○地籍調査未実施の土地は、現地と登記所地図、登記簿との不一致が生じ、土地に関する行政活動や経済活動に支障を来していることから、事業実施により、登記所の地図及び登記簿を更新整備して、土地に関する基礎資料として多方面にわたる利活用を図る。

事業概要

あなたの土地を再確認！！

○事業目的

国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図り、土地に関する最も基礎的な情報を整備する。

○事業内容

一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界に関する調査と面積を明確にする測量を行い、その結果を地籍簿及び地籍図に取りまとめる。

○実施地区

- ・東平田地区(生石字大森山、奥山)
- ・平田地区(北俣字西沢)

○実施面積

- ・東平田地区 0.28km² (1年目工程：地積測定及び複図作成等)
- ・平田地区 0.39km² (2年目工程：一筆地調査及び測量等)

○負担割合

国：50% 県：25% 市：25%

【酒田市の進捗状況】

令和3年3月31日現在

調査対象面積	調査実施済み面積	進捗率
357.06km ²	247.18km ²	69.2%

※ 全国：52.0% / 山形県49.2% (令和2年3月31日現在)

事業スキーム

【1年目】

① 地元説明会の開催

② 境界等の確認(一筆地調査)

- ・土地所有者等の立会いのもと、一筆ごとに境界等の確認を行う。

③ 地籍測量(一筆地測量)

【2年目】

④ 地積測定・地籍図等作成

⑤ 成果の閲覧・確認

- ・地籍簿と地籍図の案を閲覧し、土地所有者等から確認してもらう。

【3年目】

⑥ 登記データの更新

- ・国の承認と県の認証の後、登記所に成果が送付され、登記データが更新される。

事業効果

- ◆土地境界をめぐるトラブルの未然防止
 - ・成果が数値データにより記録、保存され、将来の境界紛争が防止される。
 - ・土地取引や相続が円滑にでき、個人資産の保全につながる。

- ◆災害復旧の迅速化
 - ・災害時に境界を正確に復元することができ、復旧活動に迅速に取り組むことが可能になる。

- ◆課税の適正化・公平化
 - ・土地一筆ごとの正確な地目や面積が把握されるため、課税の適正化等を図ることができる。

- ◆森林経営管理への寄与
 - ・土地一筆ごとの正確な面積が把握されるため、森林経営管理事業に大きく寄与することができる。

☆その他、公共事業の円滑化やまちづくりなど多方面に利活用される。

【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課

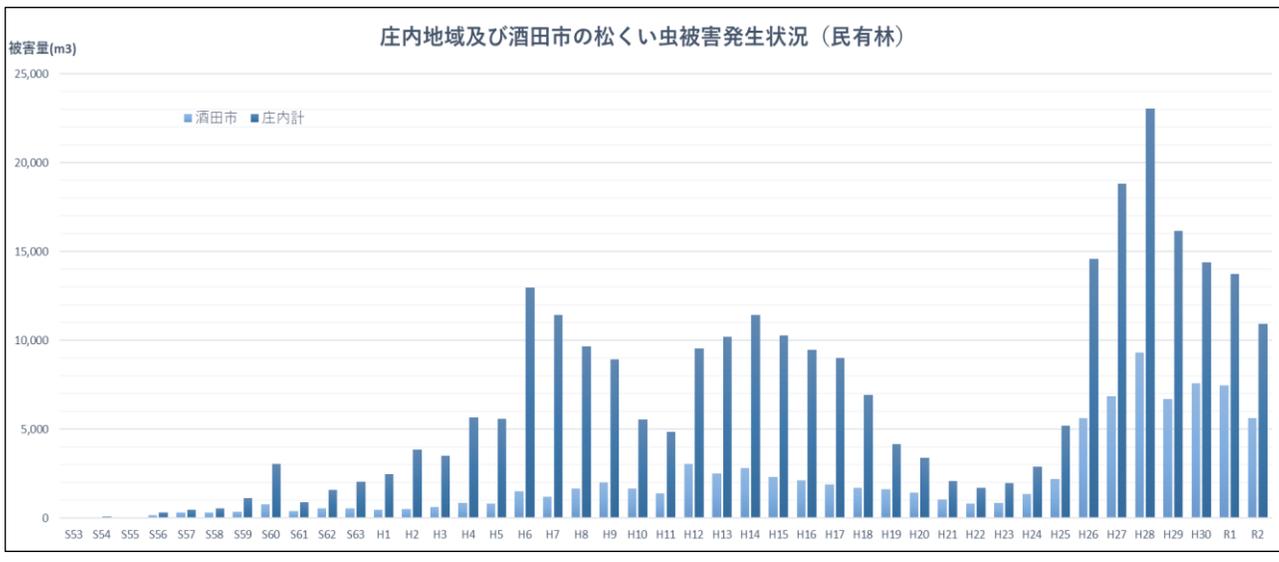
地籍調査係 TEL 43-6977

ポイント

- 防風や飛砂防備等の公益的機能を持つ松林を森林病虫害等から守るためには、適切な管理が必要となる。
- 国や県と連携しながら適切な時期に対策を実施することで、森林病虫害等による被害の減少を図る。

事業概要

- ・ **事業目的** 防風や飛砂防備、水源涵養林など市民生活に欠かせない松林を守るため、松枯れの原因となる森林病虫害等を駆除または防除する（実施対象は指定区域内森林）。
- ・ **事業内容** 国や県と連携し、地上散布及び伐倒駆除等を実施する。
 地上散布：マツノマダラカミキリ※の発生時期を気温や調査用木などから予測し、薬剤散布を実施することで防除する。
 伐倒駆除：秋に県と合同で病虫害に感染している松の現地調査を実施、冬季から春季にかけて被害木を伐倒破砕することで駆除する。なお、処理木はチップ化により有効活用する。
- ・ **事業対象者** 一般競争入札により民間事業者へ発注
- ・ **事業予定量** 地上散布 111ha 伐倒駆除 3,520m³（R2からの繰越を含む）



事業効果

適切な時期に松枯れ被害木の伐倒駆除及び薬剤地上散布防除を実施したことにより、被害拡大を抑制した。

保安林を含む民有林被害発生状況

地域	H30		R1		R2	
	本数(本)	材積(m ³)	本数(本)	材積(m ³)	本数(本)	材積(m ³)
酒田市	11,728	7,580	11,624	7,462	7,889	5,623
庄内地域	25,707	14,390	25,521	13,736	18,972	10,927

出典：庄内海岸林松くい虫被害対策強化プロジェクト会議



松山地域総光寺周辺



海岸林十里塚周辺

※マツ類の穿孔性害虫。松枯れの原因であるマツノザイセンチュウの媒介者。
 （東北森林管理局HPより）

【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
 林業振興係 TEL43-8708

ポイント

- 本市の6割を占める森林の半数以上が、樹齢51年以上の伐採適齢期を迎えている。
- 酒田産木材による住宅建設や木製品利用を促進し、森林資源の循環利用を図る。

事業概要

○事業内容

- 1 さかた木づかいネットワーク事業 【継続】**
川上（木を生産する：林業従事者等）から川中（木を加工する：製材業者等）、川下（木を使う：建築関係者等）までのネットワークづくりと林業者の研修、酒田産木材で住宅を建てる方を対象とした住宅相談会などを開催し、酒田産木材利用の普及を図ります。
- 2 杉材製材輸出協議会負担金 【新規】**
木材（製材）輸出を支援することで、販路拡大を図ります。
- 3 酒田産木製額縁の作成 【継続】**
酒田産木材（酒田杉）で額縁を作成し、市の表彰事業において積極的に使用することで酒田産木材の良さを広めます。
- 4 酒田産木材使用試作品製作費 【新規】**
地域産材で作製した試作品を展示公開することで、地域産材の販路拡大を図ります。
- 5 さかたの家づくり利子補給金 【継続】**
過年度分融資にかかる、住宅ローンの利子の一部を補助します。

ネットワークの活動

- ①木材の地産地消を推進
- ②建て主の希望をかなえる家づくりの相談と設計
- ③有利な融資制度等の情報提供と斡旋
- ④地域経済の活性化と雇用の創出
- ⑤匠の技の継承

酒田産木製額縁



敬老寿賀記念や市主催のコンテスト等で使用
裏面に「酒田杉」の焼印

家づくり相談会の様子



住宅を建てる方に対して
工務店が直接説明を行う
ことで酒田産木材を使った
住宅づくりを促進する

【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
林業振興係 TEL43-8708

ポイント

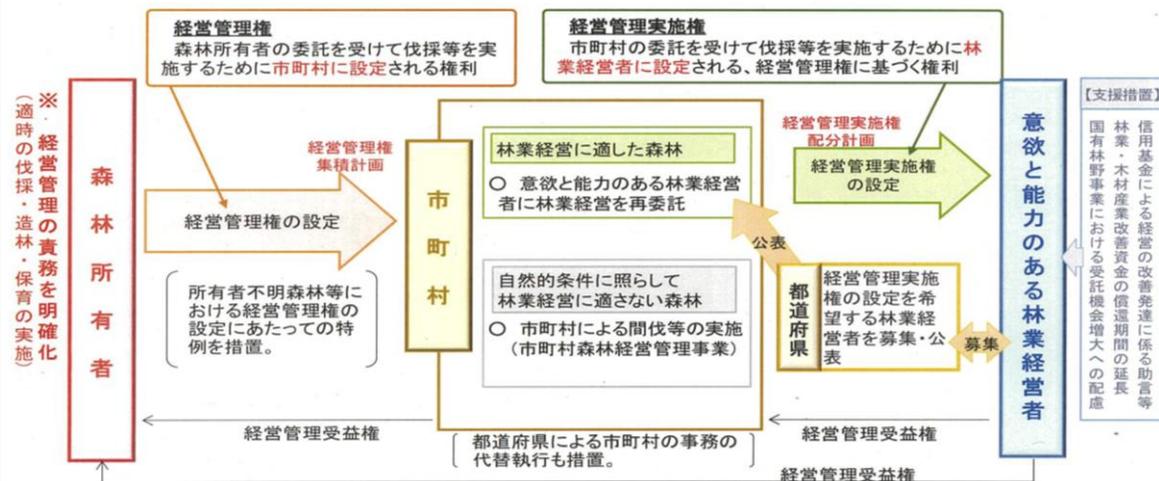
- 森林環境譲与税の創設に伴った森林の整備
- 森林経営管理制度(新たな森林管理システム)により、管理が放棄され景観や生物多様性、防災機能などが低下している私有林の問題を解消する
- 林業の成長産業化と森林資源の適切な管理の両立を図る

事業概要

- ・事業内容
 - ①森林所有者への意向調査(森林の現況把握)の実施
 - ②林業従事者が安全に作業できるよう環境整備及び林業新規就業者の確保と専門的な知識・技術の取得など人材の育成
 - ③森林の適正な管理と林業の活性化を図るため、未整備の森林整備に対する補助
 - ④将来の森林整備事業等を実施するための基金積立
- ・財源 森林経営管理推進基金繰入金 9,902千円

森林経営管理制度(新たな森林管理システム)の概要

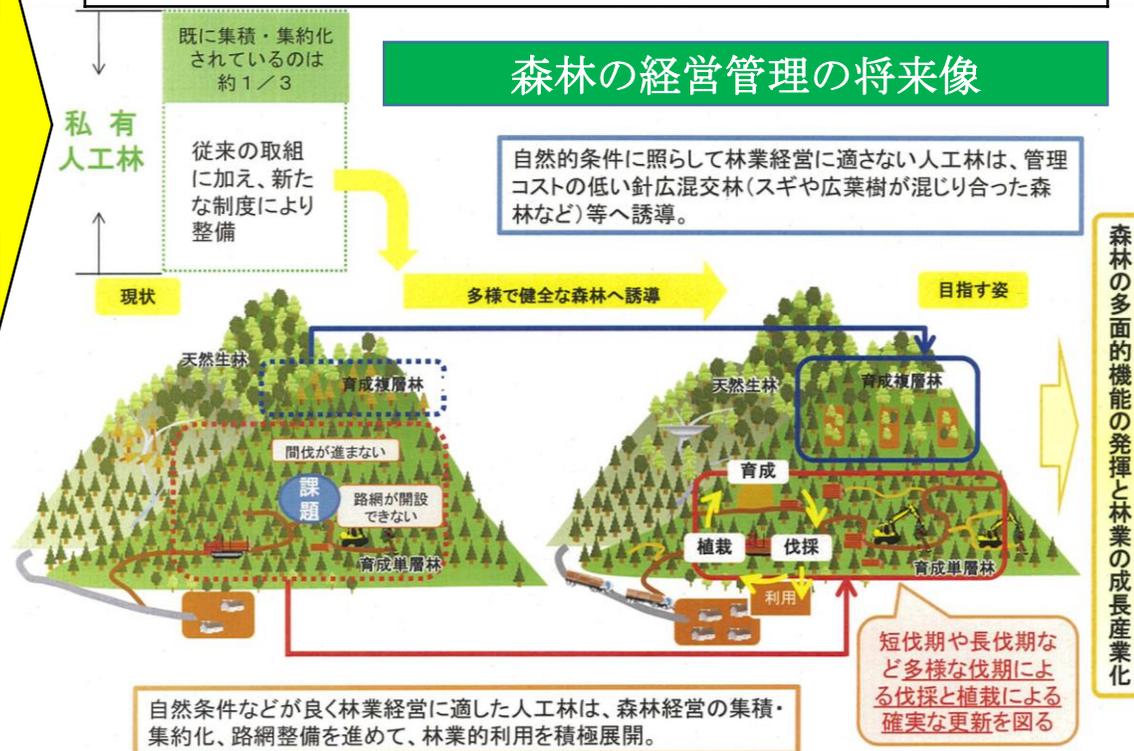
- ① 森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため責務を明確化
- ② 森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理の委託を受け
- ③ 林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託
- ④ 再委託できない森林及び再委託に至るまでの間の森林においては、市町村が管理を実施



事業効果

- ◆経営管理されずに放置されていた森林が経済ベースで活用され、地域経済の活性化に寄与
- ◆間伐手遅れ林の解消や伐採後の再生林が促進され、土砂災害等の発生リスクが低減し、地域住民の安全・安心に寄与

森林の経営管理の将来像



※出典:林野庁HP

【お問い合わせ】酒田市農林水産部農林水産課

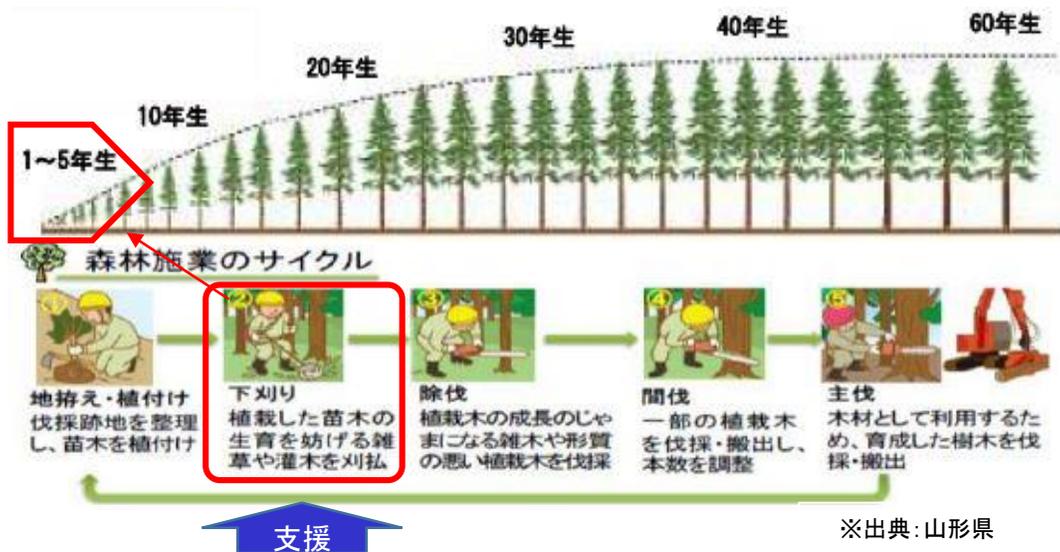
林業振興係 TEL43-8708

ポイント

- 本市の森林の半数以上が伐採適齢期を迎え、今後、間伐主体から主伐主体に移行する必要がある。
- 主伐後に再造林を行う仕組みを構築し、公益的機能の低下を食い止め、森林の保全と利用を両立させた持続的な森林管理を行っていく。
- 木を伐ったら植える再造林を確実に進めるため、植栽後の下刈りに対する支援を行う。

事業概要

- ・ **事業目的** 伐採後の再造林を推進することにより、公益的機能の高い健全な森林の育成と森林資源の循環利用を図る。
- ・ **事業内容** 森林の主伐後の保育（下刈り）を実施しようとする者に予算の範囲内で補助金を交付。
- ・ **補助要件** 健全な森林の育成を図るために実施する下刈り（対象林齢：8年生以下）
- ・ **補助対象者** 原則として森林経営計画の認定を受けた者のうち、森林所有者または森林所有者から委託を受けた者。
- ・ **補助金の額** 保育（下刈り）補助限度額（経営計画の策定の場合）
市 53千円/ha（国・県については別途県へ申請）



事業効果

- ◆国、県による再造林支援を補完する。
- ◆森林の持つ公益的・多面的機能の発揮と森林資源の循環利用が可能となる。



【お問い合わせ】
酒田市農林水産部農林水産課
林業振興係 TEL43-8708

ポイント

- 離島である飛島は、輸送や生産資材の調達など、販売・生産面において不利な状況にあり、漁業就業者の減少や高齢化が進んでいる。
- 飛島の基幹産業である漁業の再生を図るため、地域の創意工夫による漁場の生産力の向上等に関する取組みを支援する。

事業概要

○事業目的

- ・離島漁業の再生を図るため、漁場の生産力の向上、地域の特色を創意工夫で最大限に生かす島民主体の取組みへ支援する。

○活動組織と活動内容

1. 支援対象活動組織 飛島地区漁業集落（勝浦、中村、法木）

2. 支援対象事業内容

○種苗放流

- ・漁場生産力向上を図るため、サザエ、アワビ、ヒラメ、キジハタ等の種苗放流

○漁場の管理・改善

- ・岩ノリの生育を促すためノリ増殖場の清掃
- ・トビウオ漁獲量を確保するためサメ等の有害魚種の駆除

○漁場監視

- ・不審船の確認や密漁防止対策を含めた漁場監視を強化

○鮮度保持

- ・アワビ等の活出荷により取引価格向上を図る

○ブランド化

- ・飛島で採取されるアカモクなど海藻類の商品化と販路拡大を促進
- ・イベント等で飛島特産水産物をPR
- ・飛島産海産物を提供する飲食店「とびしま応援店」の拡充を図り、宣伝を強化

事業効果

- ◆飛島の漁業者の所得が向上する。
- ◆飛島の漁業資源が増加する。
- ◆新たな取組みの事業化により、若手漁業就業者の参入を促進する。



種苗放流



豊富な海藻を生かした商品開発



飛島特産天然アワビの活出荷



イベント等での飛島特産水産物のPR

【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
水産振興係 TEL26-5753

ポイント

- 酒田港には夏から冬に漁獲される生鮮スルメイカと、漁獲後船内で急速冷凍する船凍いかが水揚げされ一年中スルメイカを提供しています。
- 「いかのまち酒田」の発信と地域間連携による交流人口拡大を促進するため、地方創生推進交付金を活用し、官民連携した推進体制により横断的に事業展開を図ります。
- 本市の水産業をけん引する、いか釣り漁業を支援するとともに、水産物の消費拡大を推進します。

事業概要

事業目的

いか釣り船団出航式の開催を通して「いかのまち酒田」を市内外にアピールし、本市の認知度向上により、水産物の消費と交流人口の拡大を図ります。

事業内容

1. いか釣り船団出航式（6月上旬予定）

飛島出身の漁労長率いる山形船団が酒田港に集結、一斉に出航する「いか釣り船団出航式」を開催し、多くの市民とともに操業の安全と大漁を祈願します。同時に首都圏から著名なシェフを招いて「産地見学会」を開催し酒田食材をアピールします。

2. 首都圏×酒田コラボ企画プロモーション

都内の飲食店と地元酒田の飲食店のコラボレーション企画により、酒田のスルメイカといか料理をアピールします。

3. 酒田いかまつりin首都圏

友好都市である武蔵野市や北区との交流を活かし、アンテナショップ「麦わら帽子」での酒田フェア開催などを検討。大消費地での消費拡大を目指します。

4. 船団支援及び地産地消

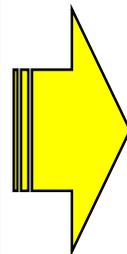
船員の食事を支える支援米提供及び全小学校でのスルメイカ給食を実施します。

5. 活スルメイカ需要調査事業

新たなブランド化を図るため、飲食店等への活イカの需要調査を行い、供給体制の構築に向け漁業者や県漁協等と調整を図ります。

（参考）ガバメントクラウドファンディング（GCF）対象事業

全国からいか釣り船への支援を募り、返礼品として酒田船凍いかをはじめ、スルメイカの加工品のほか、魅力ある地場産品を選択できるよう充実を図ります。



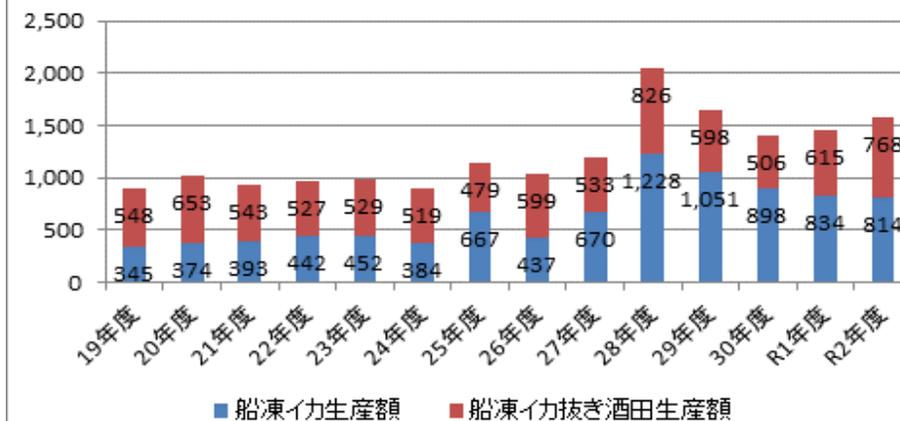
事業効果

- ◆首都圏における本市の知名度向上と「いかのまち酒田」の発信
- ◆スルメイカの消費拡大と地産地消推進
- ◆交流人口の拡大
- ◆地域水産業の活性化



いか釣り船団出航式

酒田水揚金額(百万円)



【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
水産振興係 TEL26-5753

ポイント

- 食育教室（知る・触る・食べる体験）やイベント等を通して地魚の利用を促進し、地産地消を推進します。
- 漁業者や県漁協と連携して活イカや活魚出荷の実証試験を行い、新たなブランド化を目指します。
- 県や沿岸市町等との連携による地魚のブランド化と県内陸部への安定供給を図り、流通量の増大を推進します。

事業概要

○魚食普及「食育教室」の開催（年2回予定）

子育て支援課等との連携により、庄内浜文化伝道師を講師とする「食育教室」を開催します。家庭における魚食普及を推進します。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、開催日を調整しています



魚食普及・食育教室

○活イカ・活魚出荷の実証試験の取り組み

活イカを新たなブランドとして売り出すため、漁業者の協力を得て生きている状態で水揚げし、流通させる取り組みを漁協とともに実証します。

○庄内浜産水産物安定供給推進の取り組み

山形市内に展開する漁協直営店「庄内海丸」により内陸部への安定供給と流通拡大を図ります。
また、民間による高機能冷凍機の導入について、サンロクと連携しながら支援します。

○トップブランド創出による漁業所得向上の取り組み

魚価向上による漁業所得向上を図る取り組みとして、庄内おぼこサワラ、天然トラフグ、ズワイガニに続き、新たにスルメイカのブランド化について、県、水産研究所などの機関と連携を強化して取り組みます。



庄内北前ガニ

事業効果

- ◆地魚の旬の時期と美味しい食べ方を知ることにより、地産地消を図り、消費拡大を推進する。
- ◆水産資源が減少する中、ブランド化や活魚出荷等により付加価値を高め魚価の向上、安定供給に貢献する。



活スルメイカや活魚出荷の取り組みにより、魚価向上を図ります。



【お問い合わせ】

酒田市農林水産部農林水産課
水産振興係 TEL26-5753